

しんぶん赤旗

2025. 10. 10



渋谷駅ハチ公前で
の行動に参加する
宗教者と市民＝9
日、東京都渋谷区

宗教者ら ガザ連帯行動 東京・渋谷

イスラエルのパレスチナ自治区ガザへの軍事侵攻に抗議し、差別を許さないと9日、宗教者らが東京都の渋谷駅ハチ公前広場で「祈念行動」をしました。「平和をつくり出す宗教者ネット」など4団体が呼びかけました。

参加者たちは色とりどりのプラカードや横断幕、写真などを掲げ、「ガザのジェノサイドをやめよ」「パレスチナ国家を承認せよ」などの訴えを日本語と英語で行い、イスラエルのガザ攻撃の停止と、ガザへの食料支援などを呼びかけました。

外国人観光客など多くの人が足を止め、行動の様子を撮影する人たちも相次ぎました。

江東区から来たプロテスタント信徒の渡部優子さんは平和を求める賛美歌を歌いました。「世界の平和を訴えたい、キリスト者は武器を持たない。その気持ちで歌った」と語りました。

行動の会場ではパレスチナ国家承認を求める署名活動やパレスチナの現状を知らせるチラシ配布なども行われました。チラシを配っていたエジプト出身の男性は「多くの人が政治的理由でイスラエルに逮捕され、多くの無実の女性や子どもが殺されている。世界中で抗議活動が起こっているが、世界はイスラエルでなく、パレスチナを強く支持せよ」と語りました。